

県立病院における経営改善方針(案)について【概要版】

1 徳島県立病院の現況

県立病院は、中央病院、三好病院、海部病院の3病院で構成され、東部医療圏、西部医療圏、南部医療圏のそれぞれの医療圏に位置しており、許可病床数は合計で770床となっています。

施設名	許可病床数	診療科目	主な指定状況
中央病院	440床 一般病床390床/精神病床40床/結核病床5床/感染症病床5床	32診療科	救命救急センター、基幹災害拠点病院 等
三好病院	220床 一般病床206床/結核病床8床/感染症病床6床	20診療科	救命救急センター、地域災害拠点病院 等
海部病院	110床 一般病床102床/結核病床4床/感染症病床4床	9診療科	二次救急医療機関、地域災害拠点病院 等

1 経営状況

県立病院の収益的収支推移(2019年度～2024年度)

単位:百万円

収益的収支	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
医業収益	20,775	20,031	19,727	21,088	22,127	23,040
医業外収益	3,583	3,977	3,970	4,019	4,010	3,999
特別利益		3,083	4,016	3,530	326	43
医業費用	23,116	23,021	23,726	24,693	26,475	28,202
給与費	12,259	12,220	12,774	13,117	13,944	14,949
医業外費用	1,506	2,206	2,188	2,450	2,490	2,281
特別損失		760	7			141
医業損益	-2,341	-2,989	-3,998	-3,606	-4,348	-5,162
経常損益	-264	-1,219	-2,216	-2,036	-2,828	-3,444
純損益	-264	1,104	1,793	1,494	-2,502	-3,542

2 経営課題

(経営指標)

入院患者数は、徐々に回復基調にありますが、新型コロナウイルス感染症発生以前の水準までは回復していない状況です。費用面については、医業収益に対する給与費率、材料費率及び経費率はともに、増加傾向が続いています。

県立病院全体の経営指標推移(2019年度～2024年度)

区分	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	'24-'19年度
入院	許可病床数	床	790	790	790	790	790	+0
	延べ入院患者数	人	208,283	182,638	169,241	173,455	192,658	-12,563
	病床利用率	%	72.0	63.3	58.7	60.2	66.6	-4.2
	1日当たり入院患者数	人/日	569.1	500.4	463.7	475.2	526.4	-32.9
	入院単価	円/人・日	67,160	72,897	75,308	80,385	76,580	+11,377
	新入院患者数	人	16,704	14,542	13,571	13,787	15,071	-769
	平均在院日数	日	11.5	11.5	11.5	11.6	11.8	-0.2
手術件数	件	6,752	6,568	6,073	6,445	7,258	7,518	+766
救急	救急患者数	人	26,650	20,931	21,109	20,455	19,178	21,022
	うち、救急車搬送患者数	人	8,507	7,630	7,451	7,744	8,661	9,211
	救急患者のうち、入院患者数	人	7,820	6,487	5,940	5,866	6,611	-681
医業 収支 比率	給与費率	%	59.0	61.0	64.8	62.2	63.0	64.9
	材料費率	%	24.5	24.9	26.3	26.2	26.7	+3.1
	経費率	%	17.2	18.7	18.8	18.8	19.2	+2.3
	委託費率	%	11.6	12.2	12.4	12.1	12.4	+0.8
医業収支比率	%	89.9	87.0	83.1	85.4	83.6	81.7	-8.2
修正医業収支比率	%	85.1	81.4	77.7	80.1	78.7	77.1	-8.0
経常収支比率	%	98.9	95.2	91.4	92.5	90.2	88.7	-10.2

(外部環境と新たな地域医療構想)

徳島県の人口は既に減少フェーズに入っています。生産年齢人口の減少等の影響により高齢化率が上昇する予測となっています。入院医療需要については、東部医療圏は2035年をピークに以降は減少予測となっているのに対し、西部医療圏及び南部医療圏は既に減少フェーズに入っています。西部医療圏においては、2020年から2040年にかけて、約18%減少する予測となっています。

医療圏	将来人口推計(2020年→2040年)			入院医療需要予測(2020年→2040年)
	総人口	生産年齢人口	65歳以上人口	
東部医療圏	約18%減	約26%減	約1.7%増	入院需要は2035年がピーク、以降は減少予測
西部医療圏	約37%減	約45%減	約23%減	入院需要は既に減少フェーズ(約18%減)
南部医療圏	約30%減	約37%減	約16%減	入院需要は減少フェーズへ転じる(約8%減)

国においては、2040年向けた新たな地域医療構想の各種協議が進められており、今年度中に発出されるガイドラインに基づき、来年度以降、徳島県においては、地域医療構想を策定し、その取組を実施していく計画となっています。

県立病院においては、高度急性期から回復期までの様々な医療機能や、救急医療をはじめとした政策的医療の役割を担っていますが、人口構造の変化や新たな地域医療構想を踏まえ、中長期的な視点で県立病院の役割・在り方を検討することが求められています。

2 経営改善推進に向けた基本方針

県立病院の経営状況や徳島県立病院経営改善推進委員会での議論を踏まえ、経営改善推進に向けた増収及び費用削減、中長期的な経営改善策に係る各種基本方針は以下のとおりとします。

(増収(目標)に向けた基本方針)

No.	分類	項目	対策の基本方針
1	入院収益の向上	病床稼働率の向上	・入院期間見直し、病床受入の運用変更の検討、病床稼働率を更に高めるための柔軟な人員配置等
2	診療単価の向上	施設基準の精査	・同規模他病院との比較による新規算定項目の検証 等
3		コメディカルによる指導件数の充実	・リハビリテーション実施(療法士1人あたり単位数/日の増加)、入院患者に対する薬剤指導件数等
4	新たな収益確保	手術件数の増加	・手術室の増設による手術件数の増加

(費用削減に向けた基本方針)

No.	分類	項目	対策の基本方針
1	対医業収益比率の減少	委託費の削減	・高額委託金額が発生している内容を中心に業務内容の精査による委託金額削減、内製化の検討
2		材料費率の減少	・業者交渉による納入金額の削減
3		総給与費の抑制	・超過勤務時間の削減、病院規模と必要な医療機能を検討の上、採用数の見直しを行う
4	減価償却費の削減	医療機器の更新等	・経営状況に応じた医療機器更新の延伸や機器保守の方法見直し等

(中長期的な経営改善に向けた基本方針)

No.	分類	項目	対策の基本方針
1	医療提供体制	新たな地域医療構想の動向等	・新たな地域医療構想(2040年)を見据えた県立3病院の役割(診療規模・病床機能)の検討・精査
2	経営計画	徳島県病院事業経営強化計画の見直し	・2023年3月に策定した徳島県病院事業経営強化計画の見直し
3	大規模プロジェクト	三好病院新外来棟整備計画	・経営状況の健全化、建築費高騰などの外部環境の変化を踏まえた実行時期の見直し

3 経営改善策実施計画

(増収(目標)、費用削減に向けた取組)

経営改善推進に向けた基本方針に基づき、各取組を実施し、経営改善を進めます(各増収(目標)及び費用削減策に向けた取組については、2024年度実績に基づき検討した取組事項となるため、2026年度に予定されている診療報酬改定などに応じて、適宜見直しを実施)。

全ての経営改善策について、2030年度に達成することを目標とします。

中央病院

増収 (目標)	・GHCU創設、コマンドセンター創設による稼働率の向上、コメディカルによる指導件数の充実 等
費用 削減	・委託費の削減、高額医療機器保守内容の見直し、交渉による材料費の削減、超過勤務手当の削減 等

三好病院

増収 (目標)	・緩和ケア病棟集患対策の推進、HCUの再稼働、コメディカルによる指導件数の充実 等
費用 削減	・委託費の削減、高額医療機器保守内容の見直し、交渉による材料費の削減、超過勤務手当の削減 等

海部病院

増収 (目標)	・地域包括ケア病棟集患対策の推進、コメディカルによる指導件数の充実
費用 削減	・委託費の削減、交渉による材料費の削減、超過勤務手当の削減 等

(中長期的な経営改善に向けた取組)

新たな地域医療構想の動向等	徳島県病院事業経営強化計画の見直し	大規模プロジェクト
地域の医療機関との協議・合意形成を図りながら、持続可能な医療提供体制の実現に向け、病床削減等も視野に検討する等、役割・機能の最適化をはじめとした「徳島県立病院の在り方」を中長期的な視点に立って検討	給与費や物価高騰等の社会情勢の影響により、医療を取り巻く環境は、策定当時の状況から大きく変わっていることから、今後の診療報酬改定の状況、現計画や今回の経営改善方針の進捗状況を毎年度検証	現在、基本計画策定段階である「三好病院新外来棟整備」については、県立病院の経営状況の健全化、建築費高騰などの外部環境の変化を踏まえた実行時期の見直し

4 収支計画(2025年度～2030年度)

経営改善策反映後の収支予測は、2024年度の純損益約35.4億円の赤字に対し、2030年度は約13.9億円の赤字となり、約21.5億円改善する予測となります。

(収益的収支)

単位:百万円

区分1	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
医業収益	23,040	23,153	24,618	24,926	25,130	25,381	25,550
入院収益	15,371	15,484	16,949	17,257	17,462	17,713	17,881
医業外収益	3,999	4,209	4,230	4,218	4,066	3,976	3,893
特別利益	43						
医業費用	28,202	28,979	29,249	29,334	29,079	28,730	28,622
給与費	14,949	15,389	15,295	15,298	15,252	14,983	14,936
材料費	6,358	6,323	6,715	6,801	6,857	6,926	6,968
経費	4,497	4,389	4,369	4,375	4,380	4,385	4,388
うち委託費	2,849	2,782	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732
減価償却費	2,252	2,762	2,753	2,742	2,474	2,321	2,214
医業外費用	2,281	2,326	2,373	2,330	2,300	2,274	2,211
特別損失	141						
医業損益	-5,162	-5,826	-4,631	-4,407	-3,949	-3,349	-3,071
経常損益	-3,444	-3,943	-2,774	-2,519	-2,183	-1,647	-1,389
純損益	-3,542	-3,943	-2,774	-2,519	-2,183	-1,647	-1,389